

被爆者、横田の生徒に語る *Atomic Bomb Survivor Speaks to Yokota Students*

June 10, 2019

By Airman 1st Class Bricana Bolfig
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)6月6日、横田中学校で当時のことを思い出しながら生徒に話をする日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)事務局長の木戸季市(キド・スエイチ)氏。

第二次世界大戦で米軍が長崎に原爆を投下した時、木戸氏は長崎に住んでいた。



1

(写真3)通訳を介しながら当時のことを話す木戸氏。

木戸氏は、第二次世界大戦中の米軍による長崎の原爆投下で生き残り、今では語り部として世界中を回っている。



2

(写真3)木戸氏を囲んで集合写真を撮る横田中学校の生徒と教員。

木戸氏は、第二次世界大戦の授業に関連して、長崎での原爆の体験を生徒に直に語った。



3